



秋葉区「九条の会」事務局

新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-23-0764 Fax 0250-23-0764

<http://9jo.iinaa.net/index.htm>

## 新潟で市民と野党が大結集

# 野党統一候補 菊田まきこ 必勝を期す



菊田まきこ応援に立つ蓮舫議員=8日、ウオロク新潟1, 3, 4, 5, 6区 市民と野党が大結集=長岡市

憲法破壊、民意無視、国政の私物化をすすめる安倍暴走政治をストップするために、秋葉区9条の会は区内の平和3団体と共に、市民と野党の統一候補を求めて活動を進めてきました。秋葉区から新潟4区全体へ市民団体の共闘を広げ、集会を開いたりして、野党への要請行動を続けてきました。

## 市民と野党が菊田氏と政策協定の確認書を交わす

10月5日、新潟4区の平和団体連絡会と県内4野党と菊田氏と4項目の政策協定を結び、確認書を交わしました。当選した場合、希望の党へは行かないことを口頭で確認しました。

## 菊田勝利で

### 自民から議席をもぎ取ろう

希望の党が、改憲を明言し自民との連立を視野に入れています。改憲勢力が肥大化している中で、自民から議席をもぎ取るたたくいは特別な意味を持ちます。菊田勝利のため全力を挙げてください。

## 菊田まきこ個人演説会

10月15日(日)10時より

新津保健センターはつらつホール

森ゆうこ、岡田克也議員が応援に来る

「九条の会」が5日に発表した声明は次のとおりです。

## 戦後日本の歴史と憲法の岐路に立って

2017年10月5日 九条の会

安倍首相は、臨時国会冒頭に解散し総選挙に打って出ました。野

正「実行のお墨付きを得る好機と位置づけたこと」です。

は結党以来はじめてのことであり、容易ならぬ事態です。しかも解散直前になって、安倍

党による憲法に基づく再三にわたる臨時国会開催要求を無視しながら森友・加計問題をはじめとする疑惑隠しをはかる憲法破壊の暴挙

自民党は、選挙の重点公約のひとつに、憲法9条に自衛隊を明記

政治を変えることを目標（ひょうぼう）して希望の党が旗揚げし、改憲勢力の一翼として

もし9条に自衛隊が明記されることになれば、9条の「武力によらない平和」の理念と

安倍首相は、北朝鮮問題での国民の不安を煽（あお）って改憲へと誘導しています。が、

法の役割に改めて思いを致し、安倍改憲を許さないという声を挙げましょう。

です。重大なことは、首相が、この総選挙を、政権延命をはかるにとどまらず、安倍政権への批判の高まりのなかで強行のメドが危

去に改憲の野望を抱いた首相は少なくありませんが、国民の批判を怖（おそ）れ選挙戦ではそれを正面から争点にした例はありません

登場しました。この結果、たとえ国民の批判を浴びて自公勢力が後退しても、希望の党や日本維新の会などと合

真っ向から矛盾する「武力による平和」が明示され、9条の根本的改変が起ることは明らかです。

安倍首相は、北朝鮮問題での国民の不安を煽（あお）って改憲へと誘導しています。が、

草の根からの対話と宣伝を広げ、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の提起する3000万署名の運動を大きく成功させましょう。

うくなった憲法「改憲を旗印に選挙を戦うの

わせた例はありませんでした。自民党が改憲を旗印に選挙を戦うの

2を占める危険性が高まりました。そうした

また、自衛隊が憲法上認められることで、

半島での軍事衝突の危険を増大させることに

なりません。朝鮮半島とアジアの平和は、憲法9条の原則に基づいて外交によってこそ、実現できるのです。

事態を許すならば、改憲派が2018年通常国会での改憲発議をねらうてくることは間違

いありません。

9条への自衛隊明示は、安倍首相の「何も変わらない」という言

明に反して、戦後日本が築いてきた「戦争しない国」の転換をもたらすことは明らかで

す。

総選挙は、改憲諸党の前進を許し安倍9条改憲に道を開くのか、それとも阻むのかを決める重要な機会です。すべての市民が、戦後日本の「戦争しない国」をつくらせてきた憲

# 新潟4区の市民と野党の統一候補・菊田真紀子

## 確 認 書

安倍総理が、9月28日の臨時国会冒頭に衆議院を解散したことにより、10月10日公示、22日投開票で総選挙が実施されることになった。所信表明や代表質問など一切の審議を行わないという、まさに憲法の趣旨に反し国会と国民を無視する大義なき党利党略の解散であり、「加計・森友学園」など不都合な疑惑解散である。

アベノミクスによって破壊された国民生活の回復、強権政治からの国民の声に耳を傾ける政治の回復、憲法をないがしろにした安保法制をはじめとした危ない政治からの立憲主義への回復をめざし、2017年10月22日の総選挙で全力で取組み、勝利をめざすことを確認する。

### 記

1. 安倍政権下での憲法改悪に反対する。
2. 早い機会に原発に依存しない社会の実現をはかる。
3. 安保法制廃止と立憲主義の回復をはかる。
4. アベノミクスによる国民生活の破壊を押しとどめ、格差と貧困の是正をはかる。

2017年10月 5日

|                 |       |    |     |
|-----------------|-------|----|-----|
| 衆議院選挙新潟県第4区予定候補 |       | 菊田 | まきこ |
| 新潟4区平和団体連絡会     | 共同代表  | 鶴巻 | 大陸  |
|                 |       | 西沢 | 慶一  |
|                 |       | 板橋 | 育夫  |
| 社会民主党新潟第4区支部連合  | 代 表   | 桜沢 | 義栄  |
| 日本共産党秋葉区委員会     | 委員長   | 倉茂 | 政樹  |
| 自 由 党           | 参議院議員 | 森  | ゆうこ |
| 新社会党新潟県本部三条総支部  | 支部長   | 江部 | 豊   |

